

千葉市感染症発生動向調査情報

2014年 第5週 (1/27-2/2) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		5週	4週	3週	2週
小児科		18	18	18	17
眼科		4	5	4	4
インフルエンザ*		28	28	28	27
基幹定点		1	1	1	1

上段:患者数
下段:定点当たりの患者数
「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市				千葉県	
		注意報	1/27-2/2	1/20-1/26	1/13-1/19	1/6-1/12	1/20-1/26
			5週	4週	3週	2週	4週
小児科	RSウイルス感染症		5	9	5	4	47
	咽頭結膜熱		2	5	4	7	47
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		47	61	40	36	387
	感染性胃腸炎		236	276	232	181	1,775
	水痘		13	21	16	50	179
	手足口病		1	2	2	0	15
	伝染性紅斑		2	4	5	1	16
	突発性発しん		9	13	16	10	59
	百日咳		1	0	0	0	1
	ヘルパンギーナ		0	0	0	0	0
	流行性耳下腺炎		1	5	3	4	46
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)	◎★★★	877	709	273	76	6,406
			31.32	25.32	9.75	2.81	30.08
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		1	4	0	2	20
			0.25	0.80	0.00	0.50	0.59
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		1	0	0	0	1
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	1	1
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		3	0	0	1	7
			3.00	0.00	0.00	1.00	0.88

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(6件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	60歳代	画像診断	結核	女性	80歳代	病原体等の検出
結核	女性	40歳代	病原体の検出	レジオネラ症	男性	60歳代	病原体抗原の検出
結核	女性	40歳代	病原体の検出等	急性脳炎	男性	10歳未満	高熱及び中枢神経症状

・結核4件(19)、レジオネラ症1件(1)、急性脳炎1件(3)の報告があった。

()内は2014年累積件数 ※ 累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第5週のコメント

<インフルエンザ>前週より増加し31.32となり、流行発生警報開始基準値(30.0/定点)を上回った。過去10年の同時期と比べると多め。

トピック

<インフルエンザ>

2014年の全国レベル第4週現在は、過去7年間の同時期と比べるとやや多い状況となっています。年齢階級別では1歳から10歳代前半までの増加率が大きく、6歳、7歳、5歳の順に多くなっています。都道府県別では、沖縄県、大分県、宮崎県の順で発生が多く見られます。千葉県は流行発生警報開始基準値(30.0/定点)を上回り、全国レベルより多くなっています。千葉市の第5週現在は、前週より増加し31.32となり、流行発生警報開始基準値を上回りました。過去10年間の同時期と比べると多めとなっています。年齢階級別では、1年代当たりで7歳、6歳、8歳の順に多くなっています。区別の発生状況は、中央区で依然として流行発生警報開始基準値(30.0/定点)を上回っており最多となっています。同区では1年代当たりでは7歳が最も多くなっています。今シーズンの型別迅速診断結果の累積は、A型が62.4%、B型が29.9%で、B型が増加しています。流行シーズンに入っていることから、感染防止の注意が必要です。

ワクチンは、接種してから効果が表れるまで2~3週間かかることとされていることから、早目の対策を心がけましょう。

予防として、家庭内のみならず、外出先においてもこまめに手を洗うなど基本的な予防の励行のほか、十分な栄養と睡眠をとるなど普段から免疫力を高めておくことも大事です。発症した場合は、周囲へ感染を広げないよう、無理に学校や職場へ出ることを控え、早めに受診してください。また、マスクを着用する等の咳エチケットを守ることが重要です。

<咳エチケット>

- 咳・くしゃみが出たら、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。マスクをもっていない場合は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。
- 鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。
- 咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。

